



訪問看護ステーション穩

2020年 新春号



第20回福岡市認知症疾患医療センター研修会



東京都立松沢病院の院長：齋藤正彦先生による「認知症の理解とケア」についての講演会に参加しました。お母様のお話も交え、大変分かりやすいお話でした！！

認知症の患者さんは、家族が変化に気づく前から不安があり苦しんでいます。

私たちは記憶がしっかりしているから不安はありませんが、認知症の患者さんは少しずつ記憶がなくなるから不安になります。

日常生活の支援として、、、

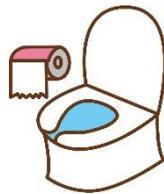
出来ないことはさせないケアを行う

大切なこと・・・失敗させないこと。患者さんの見当識障害を補ってあげること。

(例) トイレの場所が分からなくなって、玄関でしてしまう🐾

→トイレまでの道のりを分かるように誘導する。ドアを開けておく。明かりをつけておく。

等…



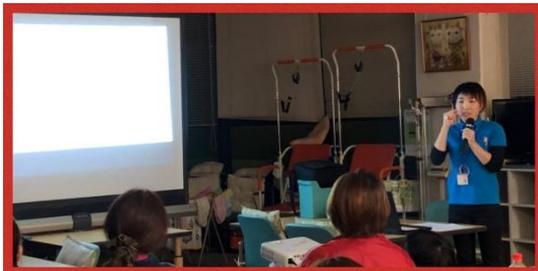
<パネルディスカッション> ～効果的な地域連携のために～

受診拒否される患者さんをどう受診へ結びつけるか。家族へのアドバイス、ケアマネなど関係職種との連携を生かすにはどうしたらよいか。

- ・受診をしたがらない理由は何かを探る
- ・「検診を受けに行こうよ」「全身の検査を受けに行こうよ」の言葉かけ
- ・家族で受ける
- ・「誰の言うことなら聞いてくれるのか」、かかりつけ医だったり、ケアマネだったり…
- ・訪問診療から受診へ結びつけていく

看護師：寺崎 逸美

口腔ケアセミナーin 那珂川市社会福祉協議会



最期まで安全に**食**を楽しむ

訪問看護ステーション穩(やすぎ)
日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士
藤中 雪子

PIC・COLLAGE

最期まで安全に食を楽しむためにはリスク管理が必要です。日頃の口腔ケアや歯ブラシ・義歯の管理、安全な食事介助方法について演習を取り入れながらお話をさせていただきました。

在宅生活をしている利用者さんは自宅では十分な口腔ケアができていないことが多いです。デイサービスやデイケアに来られた時にしっかりケアができたらいいなと思います。

看護師・日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士：藤中 雪子

患者様のおくすり箱

内服の管理が困難な患者様のために作成！
大好きなやまびー（山下智久）の写真を添えて…



大変喜んで頂けました☆

75歳、女性

イケメンには目がありません👁️👁️

作業療法士：船原 千寛

管理者ごだまの一言

明けましておめでとうございます。
昨年5月より、新たに『穩』を始動し、
たくさんのお出会いと学びのある1年
でした。本年も皆様のお役に立てるよう、
質の向上を目指し、スタッフ一同邁進
して参ります。
本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

管理者：児玉恵美子

医療法人優誠会 訪問看護ステーション穩(やすぎ)

〒811-1314 福岡市南区的場2丁目37-2

TEL：092-589-3011 FAX：092-589-3021